

K F Cと尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2017年 6月



ハナモモちゃん

【発行】
河北新報普及センター
【協力】
尚絅学院大 河北仙阪
【エリア】
名取市内
【部数】
11,600部
【電話】
022(266)2991



熱心にメモを取る学生たち



水産加工団地、手前には家の土台が残る

尚絅学院大では、毎年「旅おこし講」を行っています。旅おこし講とは、当地の地域文化の魅力を発掘、発信することです。当地への「旅」を促すことによって、集客を図り、他の地域と当地住民との交流機会を増やすと共に、経済を活性化させる狙いがあります。

取り組みとしては閑上地区で調査を行い、『新・閑上風土記』の作成やツアーなどを企画しています。明治大も同様に群馬県上野村で都会の若者に地域の魅力を体感してもらうツアーを企画、運営していることから、明治大の学生と連携して5月22日に閑上地区を視察しました。

視察では防災教育の市民団体「ゆりあげかもめ」の格井直光さんに詳しくお話を聞く事が出来ました。話を聞く中で、閑上地区を一望できる日和山に登ってみました。すると更地がどこまでも続いていると、一瞬にして人々の暮らしがなくなったことがわかりました。日和山には、児童公園が目の前にあり、子どもたちがよく集まっていたそうです。震災後、閑上地区で最初に再建されたのが、日和山にあるお社と鳥居です。鳥居は震災で倒れた松の木を使用し作られています。

現在、更地だった閑上地区には水産加工団地が作られています。格井さんは「この数年前と人との関わりが強かった」と話しています。閑上に誰もいないというのはとても寂しいものであった」と話しています。かさ上げされた閑上地区は元の姿とはだいぶ変わっていました。日和山、芽生えの塔などに加え、閑上地区で人の営みを残したいということから家の土台などを



未来のまちへ想うこと

尚絅学院大プロジェクト



飛び出したマンホール



かさ上げされた上に建築中の災害公営住宅

残し、整備しない形で震災メモリアル公園が作られる

そうです。また格井さんは「防波堤などが作られ、海が見えないのは危機感を忘れてしまうのではないかと話します。全くその通りだと感じました。危機感を忘れてしまえば再度大地震が起きたとき、同じようなことを繰り返してしまうからです。

私たちが日和山のほか、閑上地区で見たのは、地盤沈下を起こした道路や、被災したままの姿の「株式会社佐々直」の工場でした。全てが以前のように戻るとは難しいかもしれませんが、以前の懐かしさを感じる故郷のまちづくりになる様子をこれからも伝えていきたいと思っています。

(高橋諒子)

河北新報からのお知らせ

【日時・場所】

7月29日(土)13時
寺岡市民センター(仙台市泉区寺岡2丁目14番4号)
【申込方法】氏名、ご住所、電話番号、希望日を明記の上、FAX又はハガキにてお申込み下さい。

講師

一般財団法人「学習能力開発財団」
理事長 畠山 明

(はたけやま・あきら)気仙沼市出身。東北大学大学院修了。宮城県の教員を経て、96年、「個別教室のアップル・家庭教師のアップル」を展開するセレクトーを起業。仙台市内で11教室を運営する。

【日時・場所】
7月22日(土)10時
河北新報社1階ホール(仙台市青葉区五橋1丁目2番)

【お問い合わせ】河北新報社販売部 学び応援チーム
022(211)1302



名取産食べ隊

ハナモモ記者が行く

オーダーケーキ・お菓子の店 **ラ・リュン**

彩食兼備 二重の喜びを

スマホの写真をうまくケーキに描いてあります。
食べるのがもったいない



オーダーケーキ・お菓子の店 **ラ・リュン**

名取市手倉田字諏訪633-12 022-399-9655

ケーキのキャンバスに、キャラクターから人物まで丹念に描く一。名取市手倉田にある「ラ・リュン」のケーキは芸術品です。魅力あふれるケーキに、うっとりしてしまいます。

「ラ・リュン」はフランス語で「お月さま」という意味。6月12日で7周年になりました。ケーキは完全予約制。好きなキャラクターや写真に写っている人物など、細かい要望を聞き「画伯」の吉崎香さん（47）とパティシエの吉崎健さん（39）の夫妻2人で作っています。

オーダーケーキに拘る理由は「お客様には作りたてで、美味しく安全なものを食べて欲しいから」と妻の香さん。前日に予約しても翌日には渡せるとのことです。いまではお客さまの口コミが広がり、気仙沼や南相馬からも予約が入るということ。

美しい絵とともに味も抜群です。特注で作っていただいたケーキ＝**写真中央**＝は、フルーツとクリームのバランスがとても良く、食べはじめると止まりません。クリームが魅力的な薄ピンク色で、見た目に高級感があり、とてもおいしかったです。

「ラ・リュン」は平日午前11時から午後6時、休日は午前10時から午後6時半まで営業しています。華やかなキャラクターケーキに絶妙なおいしさも加わり、一度に2つ楽しめます。ぜひ二重の喜びを味わってみてください。（青田 汐里）



美味しそうなクッキーがたくさん

販売が開始され、大勢の方々が訪れ盛り上
われました。
謝状の授与も行
れた名取ライオ
ンズクラブへ感
謝状の授与も行
た。また、大型
テントを寄贈さ
れた名取ライオ
ンズクラブへ感
謝状の授与も行
われました。
販売が開始され、大勢の方々が訪れ盛り上

名取市に「みのり園」という施設があるということを知ってもらおう機会があれば、という思いから「第9回ふえり〜ちえ感謝祭」(主催・名取市みのり園)就労継続支援事業B型(5月27日、名取市増田にあるみのり園敷地と本町集会所で開催されました。

みのり園とは、名取市在住の障害をお持ちの方に対して、就労支援及び就労場所を提供している施設です。主な事業内容としてクッキー、キャラメルや手芸品の販売、市内企業の緑地清掃、名取市の使用済み天ぷら油の回収、名取市内、外でのイベントへの出店などがあります。感謝祭の名



祝辞を述べる山田市長

みのり園 “地域の皆様と共に”
ふえり〜ちえ感謝祭

がりました。訪れていた柿沼百合子さん(68)は、「はじめて来て、こんなに盛大だと思わなかった。シフォンケーキもとても美味しかった」と話していました。市外からきたという渡邊千恵美さん(50)は、「とても活気にあふれている。高齢の方と子どもたちが協力している姿が微笑ましい」と話してくれました。社会福祉法人みのり会理事長今野幸信さん(59)は、「この感謝祭を通し、多くの人にみのり園を知ってもらいたい」と語りました。（澁谷胡桃）

プレゼント企画!

「ハナモモ記者が行く名取産食べ隊」にご協力頂いた、ラ・リュンさんからお菓子を抽選で5名へプレゼント!住所、氏名、年齢、電話番号、ハナモモ通信を読んだの感想、要望などを記入してメールかファクス、または郵送で先まで。7月2日締切。
(住所)
〒980-0022
仙台市青葉区五橋1の1の10
(FAX)
(227) 8333
「KFCハナモモ通信プレゼント」係まで。

メール: hanamomo-kfc@kahoku-fc.co.jp